

3地区合同の防災訓練を行いました

4月23日㊦ 南栄、西南道、本町の3地区合同で防災訓練を行いました。

消防団第9分団による本町区に新たに設置した耐震性防火水槽を使用したデモンストレーションを行い、かまどベンチの組み立てやアルファ米の調理を体験しました。

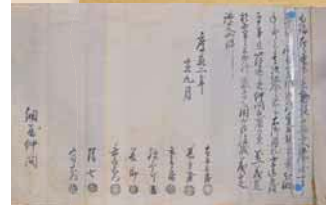
また、湯浅広川消防組合の協力のもと、消火器やAEDの使い方、てんぷら火災の危険性についても講習しました。



耐震性防火水槽を使用した消火訓練

町民歴史講座を開催しました

4月23日㊦、湯浅えき蔵にて、町民歴史講座「湯浅の漁網～松宮家文書からみえるもの～」を開催し、神奈川大学日本常民文化研究所の越智 信也氏、相原 隆一氏によりご講演いただきました。



慶応2年(1866)網屋仲間の署名がある文書

演いただきました。

り、個人的な日誌として書かれていたことがわかります。



明治27年(1894)網の販売先や時期を記した文書

松宮家は、湯浅の御蔵町で漁網の製造・販売を行っていた家で、18世紀の初めから明治にかけて網商を営んでいました。松宮家に伝わる多くの古文書群は、昭和25年、水産庁により全国の漁業・漁村資料の調査が行われた際に収集され、今回、神奈川大学日本常民文化研究所により整理され、歴史講座では整理作業の成果についてご講演

松宮家文書とは

昔の湯浅は、「漁網製造」が一大産業として栄えており、夫な湯浅の網は各地へ輸出されました。製網が発展した紀州の漁民達は新たな漁場を求め、房総半島など全国へ出漁していくことになりました。

松宮家文書からわかったこと

松宮家で行っていた製網の材料や、南広村や津木村でも製造が行われていたこと、1月から12月までの時期ごとに販売先や網の種類が違っていたことがわかりました。また、「湯浅網商組合」が設立されており、網の材料の産地の限定や、網目の数などが規則で決められ、湯浅網のブランド化が進められていました。5代目松宮太郎兵衛が書いた明治21年～38年の18年間の日誌には、明治22年に起きた大水害や、ベスト流行の出来事が詳細に記されていました。また、新聞の切り抜き「今日の晩菜」が貼られており、個人的な日誌として書かれていたことがわかります。

湯浅の漁網

危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章 三嶋 章正氏が受章されました

第38回危険業務従事者叙勲にて、三嶋 章正氏が瑞宝双光章を受章されました。

勤続42年、高速道路交通警察隊などで従事した永年の功績が認められ、今回の受章となりました。



避難行動要支援者の個別避難計画～逃げ遅れをなくすために～

出水区・北浜町区で災害時避難行動要支援者個別避難計画（以下、個別避難計画）について話し合いました。個別避難計画はお年寄り等のひとりで避難することが難しい人を助けるための地域の約束事等を決めた計画で、現在、湯浅町では各区での作成を進めています。

参加された方からは「町はこの取組を他の区へも広め、自主防災組織が積極的に活動するように働きかけてもらいたい」といったご意見もありました。

今後も逃げ遅れをなくすための働きかけを行っていきます。

4月23日㊦、出水区でこの計画について話し合いを行い、出水区の個別避難計画を作成しました。5月7日㊦、北浜町区では、昨年策定した個別避難計画の見直しを行い、災害発生時の地域の約束を改めて確認しました。



4月23日 出水区での取り組みの様子



5月7日 北浜町区での取り組みの様子

CONTENTS

- P2 ……町の話題
- P4 ……使って応援！ゆあさクーポン 第2弾
- P6 ……本人通知制度をご存知ですか？／障がい者等用駐車場の適正利用のために
- P8 ……新型コロナウイルスワクチン接種のお知らせ
- P9 ……ご存知ですか、セルフメディケーション税制／健康推進員を募集します
- P11 ……保健師メッセージ
- P13 ……第3次湯浅町男女共同参画基本計画を策定しました
6月23日～29日は令和4年度男女共同参画週間
- P18 ……町長メッセージ／湯浅えき蔵図書館さてみて！

広報 PUBLIC INFORMATION OF YUASA
ゆあさ

6月号
VOL.571